

CO<sub>2</sub>削減で新たな印刷の価値を創造する  
Minus Carbon Printing Systems **MCP**

Environment Technology  
Printing Technology  
Plate Reuse Technology  
NPC SOLUTION

●エコプロダクツ2011 出展ブース番号: 東4-026  
●期間: 12月15日(木)~17日(土)  
●会場: 東京ビッグサイト  
●時間: 10:00~18:00(最終日は17:00まで)  
●資料請求・問合せ先: TEL:0475-44-2211

**日本ファトケミカル株式会社** マイナスカーボン 検索  
http://www.world-npc.com

**Daiki 土壌CO<sub>2</sub>計測装置** 特許出願中

主な特長

- 土壌CO<sub>2</sub>・温度・湿度・大気圧の4項目測定
- 地球温暖化の一要因である土壌呼吸の原位置測定に最適
- 計測制御ロガーとの組み合わせにより、測定データの記録が可能
- GPS内蔵計測制御ロガーにより、位置情報も同時に取得可能

土と水を守る **Daiki** SOIL & MOISTURE 大起理化工業株式会社  
〒365-0001 埼玉県鴻巣市赤城台 212-8 URL: www.daiki.co.jp  
TEL 048-568-2500 / FAX 048-568-2505 e-mail: mbox@daiki.co.jp

CO<sub>2</sub>チャンバー 計測制御ロガー

# 12月 は 地球温暖化 防止 月間

きょう 開幕

17日まで東京ビッグサイト

# エコプロダクツ 2011

市民が地球温暖化防止に向けてさまざまな事業活動を展開している。今月は「地球温暖化防止月間」に当たり、環境省をはじめ、地方公共団体などがさまざまな事業を行っている。東京・有明の東京ビッグサイトでは15日から3日間、環境に関する展示会「エコプロダクツ2011」が開かれる。家電、自動車、日用品をはじめ、素材、エネルギー、金融などあらゆる分野のエコプロダクツ・サービス、環境技術と出会うことができる。

## 節電ノウハウなど紹介

環境省は1997年12月に国連気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)を契機として、98年度から12月を「地球温暖化防止月間」と定め、地球温暖化防止に向けた国民運動を展開させることにした。国民、事業者、行政が一体となって普及啓発事業をはじめとするさまざまな取り組みを実施している。環境省では98年度から毎年、12月に地球温暖化防止活動環境大臣表彰を行っている。地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人または団体に、その功績をたたえるものだ。11年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰の受賞者は個人、団体合わせて21件。内訳は技術開発・製品化部門が、日本の飲料業界で初めてPETボトルをPETボトルリサイクル法による水平循環システムを構築したサントリービジネスエキスパートなど4件。対策技術導入・普及部門は、大豆由来の液体調味料製造時に発生する残さをバイオマス燃料として開発した味の素川崎事業所など6件。対策活動実践部門は「地球環境保全のためのバリウ・チェーン・ネジメント」を実践している日本興亜損害保険など3件。環境教育・普及

## 環境ビジネス最新動向

エコプロダクツ2011は、環境に配慮した製品やサービスおよび社会や企業の先進的な取り組みを紹介する日本最大級の環境展示会。昨年に続いて13回目の開催となる。産業環境管理協会と日本経済新聞社が主催。入場料は無料(入場登録制)。今年のテーマは「Green For All, All For Green 日本発!」の力で明日を変えよう。展示規模は前回を上回る752社・団体、小間数は1747小間。ビジネスパーソン、行政、地方公共団体、民間非営利団体(NGO)、市民グループ、一般生活者は、スマートメーター

エコプロダクツ2010は745社・団体が出展

## チャレンジ環境



ガイドによる会場内ツアーが人気 (エコプロダクツ2010会場)

「生活者のための Smart Community 2011」ゾーンは、森づくりから国産材の利用、環境教育、都市と山村の交流など、国内の森林にまつわるさまざまな取り組みとそれに関連する団体の展示を通して、日本の森林・林業再生について紹介する。「復興に邁進する東北」ゾーンでは、岩手県、宮城県、福島県の地方公共団体および環境関連企業が出展。被災地のエコプロダクツとさまざまな取り組みを紹介する。分野別に学べる会場内エコツアーを参加無料で実施する。ライフスタイルからビジネスまで、六つのテーマごとに会場内を約50分程度回る。テーマ「グリーンエコノミー」ビジネスツアー「東北グリーン復興から、地球サミットRio+20へ」のツアーでは、東北におけるエネルギーや環境に配慮した「グリーンな復興」、そして12月6日に開催される「地球サミット」での主要な話題である「グリーンエコノミー」にも触れながら、国内外の環境ビジネスの最新動向を伝える。このほかのテーマは「エコ&エンカル入門!」「消費」から始める「食」から始める「サステナブルな暮らし」「生物多様性とCSR」企業に求められる役割とは?」「Smart Japan」スマートエネルギーの活用を探る「エコリノベーションとグリーンな暮らし方」となっている。

私も、日本興亜損保も、  
みどりが好き。むだがない。

みどりが好きだから、なるべく環境に

やさしい暮らしがしたい。

例えば、エコバッグを持ち歩いたり。

電気をこまめに消したり。

日本興亜損保も私と同じ想いなんです。

「日本興亜の森林(もり)」活動でみどりを守り、

保険内容のWeb確認やエコ安全ドライブの

普及推進でCO<sub>2</sub>削減に貢献している。

みんなの未来の不安を、

大きな安心に変えてくれているんですね。



**ECORatta**  
エコラッタ

さすが、わたしの保険。  
ニッポン、コウア、シンボ。

あなたを全力で支える。



**日本興亜損保**

〒100-8965 東京都千代田区霞が関 3-7-3 日本興亜損害保険株式会社 03-3593-3111(代)  
www.nipponkoa.co.jp

日本興亜損保は、エコファースト企業です。

